

虫がこびりついてガッチガッチの状態ですよ？

結果、「ブラシでゴシゴシ」「爪でカリカリ」こすってしまい、塗装面を傷つけているケースも多いんですよ。

では、付着した虫や鳥のフンは、どのように対処すれば良いのでしょうか？**おすすめの方法は3つです。**

1 長距離ドライブする直前に、洗車機でコーティングしておく

ディーラーコーティングは高価ですよ？その高価なディーラーコーティングを守るためにも、長距離ドライブする前には、お得な洗車機コーティングをしておきましょう！すると、**虫や鳥のフンがついても、数日間は洗車機コーティングが浸食を防いでくれます。**（季節・気候によって異なります）

2 日頃からマメに洗車機でコーティングしておく

長距離ドライブの直前は、コーティングの時間がとれないこともあります。また、鳥のフンがいつ落ちてくるかは予測不可能。なので、日頃から洗車機コーティングをマメにしておきましょう。1ヶ月毎が、おすすめです。



3 長距離ドライブの後、洗車機で【水洗いだけでも】しておく

虫や鳥のフンは、時間たつ程、とれにくくなります。ところが、**1日たたなければ、簡単にとれる場合がほとんどです。**（季節・気候によって異なります）

なので、帰りに当店によって、パパッと洗車機で水洗いだけでもしておきましょう！「ドライブ後に、洗車なんて大変だなー」と思われる場合は、拭き上げをしなくても大丈夫です。ただし、拭き上げをしないと、ウォータースポットが残る場合があります。でも、虫や鳥のフンに比べれば安心ですよ。さらに、翌週末には丁寧に洗車してあげればバッチリです！

大切な愛車のボディを長く守るためにも、上記の対策を心がけて下さいね。解らないことがあれば、当店のスタッフにお気軽におたずね下さい♪

今月のテーマ

STAFF紹介

暑～い夏！ おすすめの洗車方法とは？

所長
稲田 喜久



暑い日は当店で洗車していただくのが一番です。セルフ洗車の拭き上げ場も屋根付きなので安心ですよ。手洗い洗車も日陰で行いますのでオススメです！もしシミなど取れなくなったら相談して下さい。

スタッフ
近藤 真彦



理想は、日陰で洗車するのが一番です。沢山の水で余熱を取ってから洗車する事がオススメです！洗車機で洗われる方は、オプションの予備洗浄などもオススメです。汚れもボディの余熱も取れて一石二鳥です！！

次号お伝えする内容をちょっとご紹介♪

フロが実践！ 「雨の日洗車」のメリットは？

「雨だから洗車は出来ない」なんて思われていませんか？じつは、車に詳しい方は「雨の日こそ洗車のチャンス！」とお考えの方も多んですよ。雨の日洗車のメリットを、次号で詳しくお伝えしますね。

え？
雨の日に
洗車するの？



世界No.1の実績 機械遺産認定



日本機械学会



機械遺産 第82号 認定「移動式ブラシ付門型自動洗車機」

当店の洗車機は、洗車機累計販売台数が世界No.1を達成した「Beauty（ビューター）」製の洗車機を使用しております。機械遺産の認定も受けている信頼の洗車機ブランドの洗車をぜひお試しください！